



CHARTERED SEPT. 11. 1953

# Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO YAMATE

YAMATE YMCA, 2-18-12, NISHIWASEDA, SHINJUKU-KU, TOKYO TEL. 03-3202-0321 FAX.03-3202-0329

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-18-12 山手YMCA内

2017 - 18 会長主題

## 共に行動 共に喜びを

あずさ部長	大野貞次 (東京西)	「継続は力なり・一歩でも前に・そしてあがこう」
東日本区理事	栗本治郎 (熱海)	「広げよう ワイズの仲間」
アジア地域会長	Tung Ming Hsiao (台湾)	“ Respect Y's Movement ” 「ワイズ運動を尊重しよう」
国際会長	Henry Grindheim (ノルウエー)	“ Let Us Walk in the Light—Together ” 「ともに、光の中を歩もう」

会長 上妻英夫 / 副会長 尾内昌吉 / 書記 浅羽俊一郎 / 会計 中村孝誠  
 直前会長 金本伸二郎 / ブリテン 功能文夫 / 担当主事 星住秀一

**2018年3月 例会**  
 <BF・メネットの月>

とき 3月20日(火) 18:30-20:30  
 ところ 山手センター 101号室

受付 飯島愛子さん、功能さん  
 司会 尾内さん  
 開会点鐘・挨拶 上妻会長  
 ワイズソング・モットー 一同  
 聖句朗読・祈祷 尾内さん  
 ゲスト・ビジター紹介 会長  
 <会食> 一同  
 ハッピーバースデー  
 <卓話>  
 「地域おこしはSNSで—  
 ストーリー・ネーミング・スピード」  
 澤内 隆さん (厚木クラブ)  
 ニコニコ 一同  
 報告・連絡事項 各担当  
 閉会点鐘 会長

当番 (第1班) 功能、上妻、尾内、飯島 (愛)

**ワイズメンズクラブ モットー**

『 強い義務感をもとう  
 義務はすべての権利に伴う 』

“ To acknowledge the duty  
 that accompanies every right ”

**今月の聖句**

何によらず手をつけたことは熱心にするがよい。

コヘレトの言葉 9章10節

**3月 HAPPY BIRTHDAY**

**2月報告**

会員在籍数		14名
例会出席者	メ ン	9名
	メ ネット	1名
会員出席率		64%
ゲスト・ビジター		2名
		合計 11名
ニコニコ	5,900円 (累計 37,990円)	
BF 国内切手	—g	外国切手—g

会費の納入は、会計(中村君)への納入または  
 下記銀行口座への振込みをお願いします。  
 三菱東京UFJ銀行 高田馬場駅前支店  
 普通 3548431 「東京山手ワイズメンズクラブ」



## 2月例会 報告

2月20日(火) 18:30~20:30

山手センター 101号室

出席者: 上妻、浅羽、飯島、飯島(愛)、尾内、  
尾内(規)、功能、中村、星住 9名  
ゲスト・ビジター

福島多恵子さん

服部節子さん(東京たんぽぽ)

司会: 浅羽さん

平昌オリンピックの開催中でテレビも見たい時間帯の中、2月例会が開かれた。昨年、一昨年の2月例会は山手学舎を訪問して舎生と共に会食・懇談する時を持ったが、今回はいつもの101号室で通常の例会とした。TOF(タイムオブファスト)の月なので夕食はおにぎりとし、1月に続いてこれからの山手クラブの在り方について、みんなで話し合う時をもった。

最初のテーマは山手学舎支援の今後についてであった。学舎運営委員をしている中村さんから、舎生たちが東日本大震災復興支援のため現地に出かけて行く活動が終れば、山手クラブの学舎支援は後援会費1万円と山手バザーで販売する「学舎カレー」用のジャガイモの寄付だけとなる。今後の支援の在り方をどうするか、という問いかけがあった。これに対して、上妻さんからは、今の山手クラブに若い人を入れるのは無理だが、今の

体制で学舎の人たちにどういう種を蒔けるかを考えたいとの話があった。

今の舎生たちはアルバイトが忙しくて時間の余裕が全くない(中村)、山手ワイズは舎生たちにとっては年が離れすぎているのでは(功能)、ワイズに関心を求めることは無理(飯島)、舎生はOB会との関係は大事にしている。舎生が喜ぶのは食事に連れて行ってもらうこと(星住)、などの意見が出た。そして次のヨルダン会でさらに考えることになった。

次に、会員増強に直接はつながらないが、ワイズを楽しんでもらう方策として「会友」の制度を進めたいと浅羽さんが話した。

上妻さんから、2月10日に開催された「あずさ部かいじ(甲斐路)評議会」の報告があった。また、星住さんからは、①2月の最終水曜日28日は「ピンクシャツデー」としてYMCAではいじめ反対のシンボルカラーであるピンク色のシャツを着て仕事をする事、②山手学舎退舎式が3月3日に開催される事、③東日本大震災・熊本地震復興支援のための街頭募金が3月11日(日)11-15時に高田馬場駅前で行われる事、の報告があった。

また、福島多恵子さんからは、妙高原ロッジがなくなることを惜しむお話があり、服部節子さんからはlibyチャリティーコンサートが3月3日(土)に、阿佐ヶ谷教会で開催されることのアピールがあった。(功能)

<2月例会・ニコニコ元気カードから>

私は今日このことで元気です。

上妻英夫さん：例会プログラムの「山手クラブを楽しく」に期待、元気づけられた。

尾内昌吉さん：オーストラリアからの友人の娘さん(21歳の美人)・メネットと一緒にほとバス(英語)に乗って東京見物をしてきました。

飯島隆輔さん：早寝早起き、テレビ体操が元気のもとです。

飯島愛子さん：オリンピックでカーリングが面白かった。

服部節子さん：朝からわくわくサロン、第2例会、高円寺で友達とおしゃべり、山手クラブの例会と大忙しの日で元気です。

.....

おたより(2月)

<上妻英夫さん>「立春や路地にダルマの雪のころ」殆ど消えた残雪だが、路地には未だダルマの雪が残っている。

<金本伸二郎さん> 家内の診察日にあたっており、欠席します。

ヨルダン会 報告(2月)

日時：2月28日 14:30~16:00

場所：華屋与兵衛

出席：浅羽、上妻、中村、尾内

議事

- 1、3月例会  
卓話者 澤内 隆氏(厚木クラブ)  
題目「地域おこしはSNSで・・・  
ストーリー・ネーミング・スピード」
- 2、4月例会  
ゲストスピーカーとして飯島隆輔氏からご紹介のあった西浦昭英氏をお迎えし卓話を頂戴することとした。題目は未定。
- 3、菰淵部EMC主査からの入会パンフレット作成依頼の件を審議した。以前にも同様な物があり、次回例会で検討することとした。
- 4、山手学舎対応につき審議した。2月例会で話のあった食料提供等につき舎長と懇談の機会をもつこととした。

以上

3月卓話者ご紹介

澤内 隆 さん(厚木クラブ)

1951年 文京区生まれ、立教大学文学部卒業  
元頌栄女子学院中学・高校で社会科(地理)教諭。現在、文教大非常勤講師、帝国書院  
地図普及アドバイザー、その他でご活躍です。

YMCAニュース

1. 街頭募金を実施します

山手コミュニティーセンターでは、今年も3月11日に高田馬場駅周辺で街頭募金を行います。東日本大震災から7年、熊本大地震から丸2年が経とうとしています。

東京YMCAは東日本大震災直後から宮城県石巻市を拠点に支援活動をしているほか、福島の子を対象としたリフレッシュキャンプを70回以上実施し、約2700人を招待してきました。熊本地震では、スタッフ派遣や募金活動によって、現地の熊本YMCAが行う避難所および仮設住宅での支援活動をサポートしています。

震災を風化させることなく、これからも「心に寄り添う支援活動」を継続していけるよう、街頭募金活動をおこないます。

ご協力をお願いいたします。

【日時】3月11日(日) 11:00~15:00

※上記の時間帯の中で、15分程度の部分参加も歓迎です。

【場所】高田馬場駅周辺

2. ピンクシャツデー

いじめのない社会をめざし、今年もまた全国のYMCAは2月28日、いじめ反対運動「ピンクシャツデー」に取り組みました。東京YMCAの各部署でも、子どもたちや学生、教職員がそれぞれにアクションを行い、いじめについて考えました。山手センターでは玄関ロビーにコーナーを設置、水泳や英語クラスの子どもたちが、ピンクの紙に「いじめはやだよね」「いじめがない世界になればいい」など、メッセージを寄せ書きしました。

各部の取り組みは東京YMCAホームページからご覧いただけます。

(星住秀一)

## あずさ部「かいじ（甲斐路）」評議会 報告

浅羽俊一郎

2月10日（土）甲府駅徒歩2分。真新しく広々とした山梨県立図書館には大勢の市民がいましたが、そのほとんどが若者。そこで開催された部評議会に出席してきました。昨年10月のあずさ部会以来3ヶ月ぶりに多くのメンとの再会でした。今回はあずさ部最大の甲府21クラブが地元甲府でホストを務めるということもあり、80人と人数も多かったです。

全体司会は興水順雄メン（甲府21）、評議会は部書記の神谷メン（西）の進行で進められました。大野部長から議決権者42名、委任状4名で評議会の成立が宣言され、続いて部長は開会挨拶であずさ部の現勢について1月1日現在176名（昨年7月1日より純増2名）であり会員増強を引続き進めていく必要を訴えました。

議案審議では次期役員は未定の会員増強主査を除いて承認され、次々期部長は松本クラブの赤羽美栄子メンが承認されました。CS助成金20万円は協議の末、アジア賞（松本-5万）、※ベビーカーコンサート（甲府21-3万）、フライングディスク大会（富士五湖-7万）、さくらフェスティバル（武蔵野多摩-2万）、※車椅子アウトドア（長野-3万）に贈られました。一方、たんぼぼクラブの石巻・歌の出前は協議の末、東日本区に申請するという事取り下げられました。久しぶりに議論のある議案審議でした。（※印は新規事業。）

懇話会は会員増強をテーマに菰刈主査の基調提案を受けて全員1階の二つの会議室に移動し、小グループで各クラブの取り組みや課題を共有しました。全体会合では静かにしていたメンが堰を切ったようにワイワイガヤガヤと熱心に話し合っていました。

会場にもどり、各グループからの発表のあとは閉会式。YMCAの歌に続いて「あずさの道」を斉

唱。広瀬次期部長から次期役員紹介の段になって空席だった会員増強主査に菰刈現主査の続投を求める声があがり、菰刈メンの応諾で新体制が整いました。大野部長の点鐘で「かいじ評議会」は盛会のうちに終わりました。甲府21クラブの皆さんお疲れ様でした。

当クラブからは上妻、尾内、飯野、浅羽の4名が出席しました。

\*「あずさの道」について一言。昨年2月の「安兵衛評議会」でホワイトボードに手書きで歌詞をお披露目して1年。今回は野々垣メン（甲府21）のお計らいで評議会資料裏面に正式な楽譜としてお目見え。箔がつかしました。さらに音楽家田草川すみ江メン（甲府）のリード、古屋メネット（甲府21）の伴奏で皆さん不安なく大声で斉唱することが出来ました。嬉しかったです。

以上

